

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス大分教室		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 9日		～ 2025年 12月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2025年 11月 18日		～ 2025年 11月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 29日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	5領域や季節内容に沿った年間プログラムを通じて、固定しない活動ができるようにしている。	5領域に沿ったプログラムで、事業所の利用者に向けた週間テーマを考え、様々なアプローチや行動で支援しながら、その結果を評価・改善している。	PDCAサイクルを活用し、集団活動と個別活動が個性に合ったアプローチ内容になるよう全職員で情報共有していく。
2	幼少期から学童期、青年期といった発達段階や年齢に合わせて環境設定を行っている	幼少期(大分ルーム)、学童期(大分教室)、青年期(おおい第2教室)と環境的にも区分し、保護者ニーズに合わせて支援を行っている。	連携する事業所間の支援内容を共有するため、通信やブログ情報を、保護者にも定期的に共有していく。
3	事業所での出来事や、利用者とのコミュニケーション内容を、送迎時に保護者と情報共有している。	提供記録だけでは伝わらない事業所での過ごし方や、本人の状況等を保護者に伝え、目標や課題が相互理解できるよう努めている。	家庭や学校での状況等も含め、いろんな角度から利用者に向けた支援内容を計画し、保護者と内容共有していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域のこどもと活動する機会(交流)がない	学校に通っている利用者が主となり、他サービス事業所や地域住民との交流ニーズが少ない	保護者のニーズも踏まえ、必要な交流を検討しながら長期休み等でイベントを計画していく。
2	事業所の送迎がない	送迎リスクと、利用者の自立に向けた活動に伴い、学校から事業所までは自力通所を行っている。	学校や自宅から自力通所できない利用者においては、引き続き保護者の送迎協力をもらい、その他にも公共交通機関の利用等を促していく。
3	保護者が参加できる研修等の機会の提供	専門的なスキル獲得ができていないことから、自事業所での保護者参加型の研修は行っていない。	専門的なスキルの習得と支援の質の向上を目指し、自治体が開催する研修等の情報を保護者に共有していく。運営本部主催のセミナー案内は、継続していく。